

## 2017年度日本活断層学会秋季学術大会に参加しました (2017/11/24-26)

テーマ：活断層，学会，受賞

場所：広島大学東千田未来創生センター（広島県広島市）

11月24～26日の3日間、広島大学東千田未来創生センターにて2017年度日本活断層学会秋季学術大会が開催され、当研究所から、災害理学研究部門の岡田真介助教、今野明咲香助教と東北大学理学研究科の高橋直也氏が参加しました。日本活断層学会では、活断層のメカニズム、個々の活断層の性質、活断層と被害との関係などの科学的な探究に加え、防災・減災という観点からの取り組みや地域との連携を図る活動など、多様な面からの研究活動が行われています。今年は2007年の学会創立から10周年を迎え、さらに「活断層」の用語が生まれて90年の節目の大会にあたり、記念シンポジウムも開催されました。日本活断層学会の10年の軌跡を振り返り、これからの学会の在り方や、活断層研究の方向性などについて盛んな議論が行われました。一般研究発表では当研究所から5件の研究発表が行われ、このうち2件の研究発表が若手優秀講演賞に選ばれました。発表者と発表タイトルは以下の通りです。

### 【口頭発表】

熊原康博・鳥井真之・中田 高・後藤秀昭・岩佐佳哉・鈴木康弘・渡辺満久・**遠田晋次**・**高橋直也**・奥野 充：益城町堂園及び南阿蘇村河陽のトレンチ掘削調査に基づく布田川-日奈久断層帯北東部の活動履歴（予報）

三五大輔・小俣雅志・郡谷 順・**遠田晋次**：SAR 衛星の干渉解析による平成 28 年熊本地震余効変動の計測の試行

**今野明咲香**・**遠田晋次**：2016 年熊本地震で出現した地表地震断層と活断層の離隔距離の定量的検討（若手優秀講演賞受賞）

### 【ポスター発表】

**高橋直也**・村上智昭・**遠田晋次**・坂東雄一・加茂圭祐・松山和馬・中原 毅・高見智之：テクトニックバルジの内部構造と発達過程-熊本県南阿蘇村立野地区における UAV 調査-（若手優秀講演賞受賞）

**岡田真介**：東北日本前弧域仙台湾周辺における地殻構造



若手優秀講演賞受賞者と熊木会長（中央）  
今野明咲香助教（左），高橋直也氏（右から2人目）



若手優秀講演賞賞状